

不動産のウェルビーイング（Well-being）を測る：

住まうことの主観的幸福データの捉え方

小松 広明（明海大学）

【討論者】

東京大学大学院経済学研究科 教授/東京大学副学長 大橋 弘 氏

東京大学未来ビジョン研究センター 客員研究員 小林 正典 氏

一般社団法人日本不動産研究所 企画部主幹 幸田 仁 氏

ムーブネクスト株式会社 代表取締役社長 五藤 幹也 氏

JR 西日本不動産開発株式会社 執行役員 辻 崇 氏

株式会社アール・ピー・アイ 業務執行役員 渡部 和代 氏

[コーディネーター]

明海大学不動産学部准教授 小松 広明

【趣旨】

近年では、ウェルビーイング（Well-being：心ゆたかな暮らし）に対する社会的な関心が高まっている。例えば、デジタル田園都市国家構想のもと、地域幸福度（Well-being）指標が用いられるようになった。当該指標では、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感」を数値化し、デジタル庁地域幸福度サイトとなるダッシュボードで市町村ごとに可視化されている。また、地域の元気や個人の幸福感の向上を意図して、「地域元気指数」が一企業からも提示されるようになった。当該指標では、地域のつながりを捉える変数として、住民のコミュニティ活動に対する認識を捉えている。コミュニティ形成については、2022年4月から開始されたマンション管理適正評価制度における生活関連の評価項目としても考慮されている。一方、諸外国では、OECDにおいて、2011年より幸福度指標の開発が進められ、2017年には各国の幸福の平均水準が示されるようになった。このように、主観的幸福度データの利活用が進められている。

ワークショップでは、住まいに着目し、居住を通じて人が実感する幸福感の構成要素の解明とその創出に向け、不動産のマーケット（空間としての価値）に求められる主観的幸福度データの分析と提示方法について議論し、一定の方向性を見出すことを目的とする。

【ワークショップの流れ】

- ① 趣旨説明
- ② 研究・実務報告

「空間価値指標」の学術的側面

東京大学大学院経済学研究科 教授/東京大学副学長 大橋 弘 氏

国際的な空間価値指標の比較分析

- デジタル・データ・デザインの活用による空間価値評価

東京大学未来ビジョン研究センター 客員研究員 小林 正典 氏

新たな空間価値指標の必要性

一般財団法人日本不動産研究所 企画部 主幹 幸田 仁 氏

空間価値の創出事例分析

ムーブネクスト株式会社 代表取締役社長 五藤 幹也 氏

まちづくりを通じた社会的価値と経済的価値の同時実現に向けて

JR西日本不動産開発株式会社 執行役員 辻 崇 氏

住民による地域の元気に関する主観的評価データ「地域元気指数調査」のご紹介

株式会社アール・ピー・アイ 業務執行役員 渡部 和代 氏

- ③ 討論
- ④ 質疑応答
- ⑤ 総括

以 上